【教学理念】

|  |
| --- |
| 教學理念及教學準備  人類藉著語言建立起社會，社會藉著語言建立起團體間的情感，傳遞文化。人藉著語言思考，了解世界，傳達自己的想法及感動。語言及溝通是人參與社會，實踐文化的關鍵，語言最重要的是要能在生活當中實踐。在台灣，日文是僅次於英文，學習需求最大的語言，因此我常傾聽學生的學習需求，儘量做到引發學生自主學習。  教學品質  藉由學生的問卷調查,了解多數學生的學習動機是藉著日文與人溝通或是對日本次文化的興趣,因此我選擇上課教材多會注意此點來進行課程安排。  我目前參與三個研究會，分別是「J-GAP TAIWAN」、「TAE研究會」以及「辯論教育研究會」，常與其他日語教育工作者進行經驗交換、從事學術研究、增進教學知能。  提升教學知能及參與教學發展  其中每個月出席的研究會「J-GAP TAIWAN」，進行的是討論高中日語教育與大學日語教育的一貫課程，本人也負責教材的編纂工作等。在TAE研究會中我針對學習第二外語日文的學生學習動機進行質的分析。而在辯論教育研究會中，我研究的是將辯論教育引進日語教育的意義及方法論。藉著參加此三個研究會，給我的課程帶很多的啟發。  教學成果  我鼓勵學生參加全國性的日語比賽，賦予學生新的目標，也常在課後進行比賽指導， 學生也因而在許多比賽中獲得佳績。此外還主辦一年兩次與日本大學生的交流活動，期望能增進學生的國際交流的機會，其中一項活動是率領學生前往日本在當地進行日文特訓，另一項活動是接待日本大學生，讓學生透過交流訓練日文能力。 |

|  |
| --- |
| 教學理念說明  　　我認為人不能安於現狀，不斷持續成長是很重要的，因此經常勇於挑戰嘗試是必要的，而感受挑戰成功時的充實感及成就感也是很重要的。身為一個人，並不是單純為了增進自我能力或是達成目標，而是要永遠相信自己有無限可能，進而體會自我成長的喜悅。因此我的教學理念就是讓學生知道擁有目標的重要性，讓他們瞭解不只要培養語言能力，還有培養生活能力的重要性。  　　我意識到學生的個別差異，因此努力探索出學生個別的興趣、目標、學習需求、學習動機，設計並提供適切的學習活動或課程，我也十分關注學習成效，重視建立能給予適當的建議及回饋的教學關係。  　　我認為語言的學習必須是快樂並有成效的，學生若能在學習中感到快樂，其學習動機也會提升，進而能自發性地自我學習。學習過程的快樂固然重要，但當然得要滿足大學生對知識的追求才行，因此我在學習中導入猜謎或遊戲時，並不是一昧追求快樂就好，我認為在大學生的學習過程中，有價值及有意義的學習活動才是重要的。  　　在瞬息萬變的現今社會，實現融合民族、宗教、文化差異的共生社會是很大的課題，我認為培養學生能體認自我價值，並接納他人是非常重要的，因此不僅在語言方面，我也十分用心地讓學生在這方面自我思考。  　　此外，最近由於網路的普及，資訊社會有了急遽的變化，社會上對人力的需求也與過去截然不同。現今要求的是自我思考判斷的能力，因此，我在課程設計時，不要學生僅僅介紹事情表象，還要求他們要探討其衍生的現象、歷史、想法，不要只是囫圇吞棗，希望培養他們能批判性地去審視、判斷一切事物。 |

**「日本語」担当としての3つの柱**

情報通信の発達した現代において、「日本語科目」を大学の教育現場で、何をどのように提供し、「日本語科目」の担当者として、自身はどうやって貢献できるのか、ということを常に考えている。現在、実践していることを報告する。

以下の大きな柱を3つ立てている

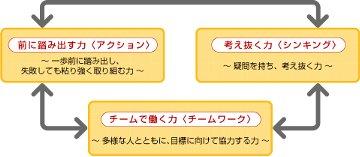
１、日本語能力

言葉は、手段であると共に、その国の文化や社会、人々の思考方法などを表しており、外国語の習得は異文化理解に重要な役割を果たす。 したがって、その習得を容易にするということは国際理解につながる重要なことである。

ただ単純に日本語の文法を教えるのではなく、コミュニケーションの方法、その背後にある、文化的事情を積極的に伝えている。そして、習得したことを使って、どのように実践していくのかを授業で取り入れ、教室内では、できるだけ声に出し、日本語を体験し、日本語を通じて、さまざまな異文化に興味をもってもらうよう工夫している。

２、社会人基礎力

現代社会は環境の変化が激しく、どんな状況でも、応用できる能力を社会は求めている。高等教育機関で第二外国語として日本語を担当している立場から、日本語教育を提供するだけでなく、社会に出ても、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」つまり、「社会人基礎力」を日本語教育に取り入れている。また、多文化社会を受け入れて、様々な文化背景を持っている人たちと共存することは現代社会において、必須である。



**「前に踏み出す力（Action）」**

新しいこと、困難なことに挑戦し、失敗しても諦めないこと：

1. 主体性・・・積極的に行動し、責任感と自分の行動を冷静に分析すること。
2. 働きかけ力・・・自分に足りないこと、苦手なことを見極めて、自分の足りないところを他者に補ってもらうこと。
3. 実行力・・・目的を設定し、確実に行動する力をつけること。

**「考え抜く力（Thinking）」**

疑問を持ち、考え抜く力：

1. 問題発見力・・・現状を分析し、目的や課題を明らかにすること。
2. 計画力・・・問題解決のための事前準備すること、そして、チームをマネジメントし、組織運営、チーム作りができること。
3. 想像力・・・常識や固定概念に捉われずに、新しいものを生み出すことができること。

**「チームで働く力（Team Work）」**

多様な人々と一緒に、目標に向けて協力することができること：

1. 発信力・・・自分の意見をわかりやすく伝えることができること。
2. 傾聴力・・・人の話をしっかりと聞くことができ、人の話を深堀りしてきくための質問をすることができる。
3. 柔軟性・・・他人との意見の違いや立場の違いを理解し、感情と合理性を切り離して、人と議論したり、話し合いをしたりすることができる。
4. 情報把握力・・・自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
5. 規律性・・・社会のルールや人との約束を守ること。
6. ストレスコントロール力・・・ストレスの発生源に対応する力

３、国際理解と国際交流

国際的視野を持つ実践的人材を育成し、台湾内、外において、グローバル人材を養成することを目標としている。国際理解とは、以下の3点のことである。

(1) 世界市民(global citizen)意識の養成

（2）異なる文化を尊重しようとする寛容性の養成

（3）自文化及び自己を相対化する能力の養成

新竹科学園区に隣接していること、理工系の学生が多いことなど、地域性を活かし、新竹在住の日本人技術者と接する機会を設け、交流を目指している。また、日本語ディベート交流によって、日本人大学生、韓国、中国で日本語を学ぶ大学生との交流も積極的に行なっている。